

Ⅱ. 4. 大阪大学言語文化学会・大阪大学言語社会学会

○言語文化学会活動

2019（令和元）年6月27日 大阪大学言語文化学会第55回大会

（2019年度春季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会）

<研究発表>（ ）内は所属の学会

坂場 大道（言文）「『嘘』と『冗談』～日本語と英語における<真ではない発話>の捉え方の違い～」

田中 瑤子（言文）「英語の強勢移動(stress shift)におけるピッチアクセント削除について」

西村 僚之佑（言社）「モンゴル語の格語尾-a a p⁴格と-д (-т)格における時間・空間の概念に関する一考察」

中谷 直樹（言社），ターインタ・プーワット（言社）「男性同性愛者向け出会い系スマホアプリにおける自己紹介文の内容の特徴の日・タイ比較考察」

沈 吉穎（言文）「外国人高度人材受入れ政策に関する批判的談話研究—内閣官房の公文書を中心に—」

孫 雨晴（言文）「中国人日本語学習者の語用論的能力の発達—依頼メールの外的修正の分析を通じて—」

林 桂生（言文）「オートエスノグラフィーの確立—勤労中高年 ASD 者への応用に向けて—」

コウ シンブン（言文）「中国のミステリー小説におけるトピック解析の試み—雷米と鬼馬星の作品の比較考察を中心に—」

呉 穎濤（言社）「文学の翻訳と伝播—朱天心『古都』の場合」

黒澤 怜史（言社）「トルコ農村小説におけるドイツ像—ベキル・ユルドゥズ『トルコ人ドイツにて』解題—」

原田 一輝（言社）「幻影的カリスマの痕跡を辿る—The Great Gatsby と Tender is the Night におけるモノの表象をめぐって—」

大津 真実（言社）「地区マネジメントによる移民の統合—ベルリン市ノイケルン区の事例から—」

中村 瑞樹（言社）「Don DeLillo Underworld における野球表象から読み解くアメリカ野球史の恣意性」

李 潤澤（言文）「1960年代の日本映画にみる満洲イメージ」

茶圓 直人（言社）「撫牛の初出と展開」

青山 瑞季（言社）「1919年ハンガリーの土地改革の背景に関する一考察—カーロイ・ミハ

ーイによる土地問題への取り組みを中心にー」

<総会>

1. 2019 年度役員・委員

【役員】会長: 伊勢芳夫、副会長: 宮本陽一、監事: 佐藤彰、林千宏

【教員委員】委員長: 高橋克欣、副委員長: 小口一郎、会計委員: 大神雄一郎

企画・編集委員: 岩根久 (後期: 学会誌担当)、大神雄一郎 (事務局担当)、

林千宏 (学会誌担当)、ホドシチェク・ボル (前期: 春季大会担当)、

三浦あゆみ (書記担当)、宮崎麻子 (後期: 秋季大会担当)、

ヨコタ・ジェリー (前期: 春季大会担当)、渡邊伸治 (学会誌担当)

【院生委員】浅野真菜、岡田茉弓、田尾俊輔、堀口修平、李国昕

2. 2018 年度活動報告

3. 2018 年度会計報告

4. 2019 年度予算案

5. 2019 年度活動予定

6. 会員数

7. その他

2019 (令和元) 年 10 月 26 日 大阪大学言語文化学会第 56 回大会

(2019 年度秋季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会)

<研究発表> () 内は所属の学会

LEE Joongchan (言文) 「金俊平はなぜ女性に暴力を振るうのか?—DV 発生理論から読み解く梁石日『血と骨』—」

近藤 佑樹 (言社) 「空飛ぶ大統領、負傷兵、脅威のプロット—Philip Roth の”The Plot Against America”における『子供の恐怖譚』」

川村 明日香 (言文) 「地図がつくるハイパーリアル—ディズニーランドの記号論」

銭 蕾 (言文) 「中国におけるヤオイの受容状況—関係性の読み替え: イギリスドラマ『SHERLOCK』を例に—」

東浦 可奈 (言文) 「『家族 BL』で描かれる新たな家族像についての分析—『近代家族』との比較をとおして—」

林 桂生 (言文) 「社会問題の告発をめぐるオートエスノグラフィー」

TÓTH MÁRTON ANDRÁS (言社) 「日本語、スウェーデン語とハンガリー語における『現在との関連性』と結果性の相関関係」

CIOLCA RALUCA MARIA (言社)「日本語の連体修飾環境における形容詞と動詞の相違点

—連続した形容詞・動詞を中心に—

王 天保 (言文)「台湾華語の“雷”の意味変化」

2020 (令和 2) 年 3 月 31 日『言語文化学』第 29 巻発行

<査読者>

井元秀剛、植田晃次、小川敦、越智正男、北井聡子、木村茂雄、小葉哲哉、小杉世、
坂内千里、里内克巳、田畑智司、田村幸誠、津田保夫、中直一、中村綾乃、早瀬尚子、
平山晃司、福田覚、三宅真紀、森祐司、ヨコタ村上孝之、渡辺秀樹

○『言語文化学』第 29 巻 (2020) 目次

論 文

- ・ 中国のミステリー小説におけるトピック解析の試み
..... 黄 晨雯
- ・ 映画雑誌『満洲映画』にみるスターの表象
..... 李 潤澤
- ・ The Difference of Japanese *Usō* and English *Lie* from the Perspective of Speech Acts
..... Hiromichi SAKABA
- ・ 『豊饒の海』『春の雪』の英語翻訳—百人一首 48 番 49 番の訳出について—
..... 寺浦 麻由
- ・ 文を越える「事実上」の意味と機能
..... 張 希西

○言語社会学会活動

大阪大学言語社会学会学術記念講演会

日時： 2019年6月27日 (木) 13時30分～14時50分

会場： 大阪大学箕面キャンパスA棟A416教室

講師： 鈴木董先生 (東京大学名誉教授)

講演タイトル： 文字世界から見る比較史